

積雲対流起源の大気重力波と大気光擾乱のシミュレーション

Simulation of convectively generated gravity waves and airglow modulation

堀之内 武[1]

Takeshi Horinouchi[1]

[1] 京大・宙空電波

[1] RASC, Kyoto Univ.

対流圏の積雲対流により励起され、中間圏・下部熱圏領域に伝播する大気重力波を、雲分解モデルを用いて調べている。これまでに、熱帯でのキャンペーン観測(TOGA COARE)に基づいた数値実験により、重力波の上方伝播と中間圏界面付近での碎波の過程を明らかにし、また、それに伴い酸素原子の 557.7 nm の発光に現れる擾乱とその生成メカニズムを明らかにした。本発表では、中緯度を含むさらなる様々な数値実験により、中間圏・下部熱圏に伝播する波動への下層・中層大気の影響並びに対流圏における波動の励起機構を論じる。